

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	仁ノ地区排水対策事業				
所管部局	農林水産部	部局長名	本山 幸一	予算事業名	○仁ノ地区排水対策事業費
所管部署	耕地課	所属長名	永野 昭雄	予算事業科目(平成26年度)	010601050393

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け					
施策の大綱	04	地産の環	法定受託事務	施策取組方針	農地災害を防止し、営農活動の利便性と効率性を向上させるために、農道、水路等の整備を行います。また、地域の共同作業による農業土木施設の維持管理を継続するため、農業者と地域住民が一体となった農地の環境保全活動団体の結成・育成を促進します。
政策	19	大地の恵みを活かす農業の振興			
施策	57	農業の基盤整備			

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	
県条例・規則・要綱等	
市条例・規則・要綱等	
その他(計画、覚書等)	新まちづくり計画・2011高知市総合計画第2次実施計画(2014~2016)

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	春野町仁ノ地区の営農者を含む住民	
意図	どのような状態にしていけるか	仁ノ地区の土地利用の変化等に伴い、排水対策を見直し、農地の湛水及び浸水被害の軽減を図るための対策を实地。	
手段	事業実施体制等	設計コンサルタントに業務委託する	
		事業開始年度	平成24年度
		事業終了年度	平成32年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	土地利用状況の変化等から、平成24年度における内水解析を踏まえ、仁淀川河口部のボックスカルバートや遊水地を含めたポンプ施設等の整備構想を策定。	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	内水解析(%)	土地利用状況の変化や基準地盤高の変化等を踏まえ内水解析を実施
	B	ポンプ施設構想の決定(%)	土地利用状況の変化等を踏まえたうえで、増設ポンプの規模を決定
	C		

4 事業の実績等

			23年度	24年度	25年度	26年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	内水解析(%)	目標	100				
		実績		100				
	B	ポンプ施設構想の決定(%)	目標		100			
		実績			100			
	C		目標					
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)		7,573	3,913	30,000		
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)					
			その他(千円)		7,573	3,913	30,000	
			一般財源(千円)	0	0	0	0	
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	0	1,480	1,460	1,440		
		正規職員(千円)		0	1,480	1,460	1,440	
			その他(千円)					
			人役数(人)		0.20	0.20	0.20	
		正規職員(人)			0.20	0.20	0.20	
			その他(人)					
	総コスト=①+②(千円)			0	9,053	5,373	31,440	
市民1人当たりコスト(円)			0	27	16		総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数(人)			337,875	338,397	336,845			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 所属長評価

評価項目		評価基準		1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	4.0	新市まちづくり計画及び第二次実施計画に記載された事業であり、地元からも強く要望されている。	
		B (3) 一部結びつく				
		C (1) あまり結びつかない				
		D (0) 結びつかない				
事業実施の必要性	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B			
		B (3) 横ばいである				
		C (1) 少ない、減少している				
		D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	5.0	仁ノ地区排水対策として仁淀川河口部のボックスカルバート、地区内の導水路及びポンプ施設規模について検討を進め、成果指標の目標は概ね達成できている。	
		B (3) 概ね達成している				
		C (1) あまり順調ではない				
		D (0) 十分な成果を望めない				
事業内容の有効性	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A			
		B (3) 概ね妥当である				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	4.0	業務委託することにより事業の効率化を図っている。	
		B (3) 行政主体が望ましい				
		C (1) 検討の余地はある				
		D (0) 十分可能である				
事業実施の効率性	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B			
		B (3) 概ね効率的にできている				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	地区全体の排水計画の見直しは、地域住民の安全・安心な生活を守るために必要な事業である。	
		B (3) 概ね保たれている				
		C (1) 偏っている				
		D (0) 公平性を欠いている				
事業実施の公平性	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A			
		B (3) 概ね適正な負担割合である				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 検討すべきである				
総合点	18.0	総合評価		○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
				B 改善を検討し、事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
				C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
				D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	新市まちづくり事業及び2011高知市総合計画第2次実施計画（2014～2016）にも記載されており、また、地域住民の安全・安心な生活環境を守るためにも必要な事業であり継続して実施。
B 改善を検討し、事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--